

南市岡地域

南市岡 1～3丁目



元禄16年（1703年）の鬼瓦



浜通りに瓦倉庫が立ち並ぶ様子

南市岡小学校にある干支瓦



毎年その年の干支瓦を学校に寄贈。12枚そろったのでショーケースに並べて、1階廊下に飾る。

瓦のまち南市岡

毎年3年生が瓦の授業を受けている



地場産業の出前授業

3年生の児童に、地域の瓦屋さんが学校へ出向いて瓦についての授業を行う。ミニ瓦に絵付けをしたり、実際の瓦に触れ、瓦をどのように並べるのか体験したりと長年取り組んでいる。

ふれあいまつりでの瓦焼き芋 ～H29



瓦焼き芋

校庭を傷めないように、鉄板ではなく瓦を敷いて芋を焼いた。毎回瓦の提供を受け「ふれあい祭り」名物瓦焼き芋が実施されていた。

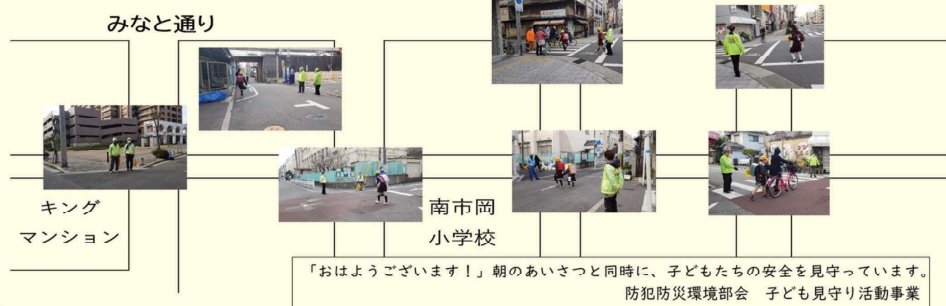
安心安全のまち南市岡



ひったくり防止巡視

地域のお年寄りが病院の帰りにひったくりの被害にあい、その時間帯に巡視を始める。今では犯罪全般の防犯のため月2回実施。地域住民のほか区役所や警察から（制服警官含む）も参加。巡視の後、今起きている犯罪などのお話を聴き防犯に努めている。

子ども見守り隊がんばっています



「おはようございます！」朝のあいさつと同時に、子どもたちの安全を見守っています。
防犯防災環境部会 子ども見守り活動事業

横断歩道や四つ角に立ち、「おはようございます」朝のあいさつと同時に、子どもたちの安全を見守っている。

はぐくみネット

—学校と家庭と地域を結ぶ架け橋—

平成14年7月より小学校教育協議会（はぐくみネット）調査指定学校に 大阪市内10校



広報紙発行

広報活動に力を入れる。「はぐくみ通信」として平成14年9月に第1号を発行。20年以上の間に令和6年12月には229号となる。地域活動協議会が設立。「すき屋根通信」として、地域の行事を発信。この12月には130号を発行。

ふれあいまつりは「PTAだけでなく地域も一緒に、児童を楽しませよう。子どもたちと顔見知りになろう。」とはぐくみネット主催の行事となる。小学校を卒業すると、学生ボランティアとして参加する子どもも多い。

「はぐくみ文庫」とは、より多くの本に触れてほしいという思いから、いつでもだれでも手に取ることができる、学校の1階エレベーターホールに本棚を設置。少しずつではあるが、毎年本を買い足している。（R30.2～）

ふれあいまつり



はぐくみ文庫

南市岡
地域

南市岡会館老人憩の家

